

議会だより



町民の安全を守ります（松島町交通安全指導員の皆さん）

- ◇ 平成27年度各種会計補正予算 … 2～4P
- ◇ 新しい文化の発信拠点へ
（工事請負契約の締結）…………… 7P
- ◇ 平成26年度政務活動費収支報告 …… 14P
- ◇ 5人の議員が熱弁（一般質問）…………… 15P
- ◇ 町民の声…………… 22P

平成27年
第2回 定例会

[6月12日～6月16日]

町長2ヶ月ぶりに復帰

病気療養のため入院していた町長。

『後顧の憂いなく町政に励み、震災復興と新しい町づくりにまい進したい』



平成
27年度

各種会計補正予算
一般会計総額137億7600万円に

平成27年第2回定例会が6月12日から16日までの5日間の会期で開催されました。

提出された内容は、陳情1件、報告5件、専決処分の承認4件、議案14件（条例の一部改正4件、指定管理者の指定1件、工事請負契約の締結1件、工事請負契約の変更1件、各種会計補正予算4件、議員提案2件、その他1件）、諮問3件でした。審議の結果、議案は全て原案のとおり可決しました。

一般質問は、5人の議員が9件の町政のさまざまな問題について質問しました。

一般会計補正予算（第2号）

主な内容

3月定例会で予算を減額した「強い農業づくり交付金事業」の県内示があつたことによる、補正及び4月の人事異動、市町村共済組合負担金の負担率の改正等に伴う人件費等について補正するものである。

主な事業は、次の通り。

●都市景観大賞記念碑設置工事（平成27年度都市景観大賞を受賞したことにより、対象地区へ記念碑を設置する経費）
140万円

●社会保障・番号制度システム改修業務委託（マイナンバー制度システム改修費）
426万円

●臨時福祉給付金事業（消費税率の引き上げに伴い、所得が低い方々に対し給付金を給付するための経費）
2443万円

●子育て世帯特例給付金事業（消費税率引き上げの影響等を踏まえ、子育て世帯に対し、臨時特例的な給付処置として給付するための経費）
555万円

●強い農業づくり交付金事業（生産から流通までの総合的な強い農業づくりを推進するため、農産物の高品質・高付加価値化、低コスト化及び食品流通の効率・合理化等を支援する補助金）
3億8778万円

●小学校遊具設置事業（ふるさと寄付金を財源に小学校の遊具設置を行う）
880万円

●幼稚園遊具設置事業（ふるさと寄付金を財源に幼稚園の遊具設置を行う）
220万円

質疑

塩釜斎場建設に向けて

後藤良郎議員 塩釜斎場

移転に向け選定された候補地への基本設計及び環境調査等に係る負担金が計上されているが、2市3町のそれぞれの負担金額は。

総務課長 松島町103

2万円、塩竈市1836万円、多賀城市1962万円、七ヶ浜町1119万円、利府町1451万円の総額7400万円である。

今野章議員 塩釜斎場建設問題に関して、最近の情報として赤沼地区、浜田地区、須賀地区住民代表の方々と組合管理者等々の会議が実施されたのであれば、会議経過、会議の様子は。

総務課長 5月30日代表者会議があり、松島町は副町長と総務課長が出席。また、3地区からはそれぞれ4名ほどの代表が集まった。地区代表の

座長・副座長の選出と年間スケジュール、会議開催の頻度、進捗状況の把握、情報交換として管理者、副管理者も参加する等が話し合われた。

マイナンバー制度による危険性

今野章議員 マイナンバー制度のシステム改修業務委託に関して、我々国民にとつてのメリットは極めて少なく、個人情報流出等の危険性が高くなるのではと思うが、町はどう考えているのか。

町長 最近も年金情報で漏れた自治体があり認識レベルも足りないようである。しかし、松島町だけがやらないというわけにもいかないで、システムに遺漏のないように取り組んでいきたい。

都市景観大賞 記念碑は

赤間幸夫議員 都市景観大賞記念碑のイメージと設置場所は。

企画調整課長 サイズ的に30センチ四方で高さが1・5メートルの標柱を景観重点地区に設置する予定である。観光客がよく見ていただける場所であり、通行に支障のない場所を選びたい。

高城避難所の備品は

赤間幸夫議員 高城避難所への備品は、どのようなものか。

危機管理監 2階の多目的ホールには、可動式調理台5台、テーブル、事務用机、書棚、テレビ等3階多目的ホールには、テーブル、椅子、テレビ、ホワイトボード等であり、他の避難施設等々と同様の備品を設置する予定である。

臨時福祉給付金の内容は

色川晴夫議員 臨時福祉給付金は、国・県の支出金で2400万円であり、その事業費内容は。

町民福祉課長 臨時職員を2名配置し、住民税非課税世帯の対象児童1人につき6千円を支給する。また、生活保護世帯は対象外であり、3200人が対象予定者である。

町からの支援政策は

色川晴夫議員 農業振興費として「強い農業づくり交付金事業補助金」の兼ね合いで、これまで町長は農業振興、観光振興、6次産業化にも一生懸命努めますと答弁してきたが、今回の補助金は全部国であるが、松島町からは何も出さない。町の意気込みとして、独自の施策を加味した支援政策は考えられないか。

副町長 あくまで国の施策の中でやられることで

あり、町は補助制度を活用した有意義な有利な財源を使いたい。

小学校・幼稚園 遊具の点検は

色川晴夫議員 小学校と幼稚園の遊具設置後の点検とメンテナンスはどのようにしているのか。

教育課長 設置場所や遊具の構造等から過去の事故事例等を参考に点検と補修を行っており、特に溶接している遊具等へは十分配慮していきたい。

賛成全員・可決



授与された表彰状

国民健康保険特別 会計補正予算 (第1号)

主な内容

4月の人事異動及び共済組合負担金の負担率の改正に伴う人件費を補正するものである。

賛成全員・可決

介護保険特別会計 補正予算(第1号)

主な内容

4月の人事異動・共済組合負担金の負担率の改正に伴う人件費及び介護保険特別会計の地域支援事業の対象外となったため補正するものである。

また、低所得の保険料を軽減するため一般会計から繰り入れるものである。

質疑

今野章議員

地域支援事業がなぜ対象外になったのか。

健康長寿課長

介護予防・日常生活支援事業の中で、地域の実情に応じた実施が可能であったが、今回の総合事業ガイドライン中で対象外になったため。

賛成全員・可決

水道事業会計補正 予算(第1号)

主な内容

4月人事異動に伴い職員の人件費を補正し、水道事業費用の総額を5億9494万円とするものである。

賛成全員・可決

議案 審議

専決処分

町税条例等の一部 改正

主な内容

平成27年4月1日以降のふるさと納税について確定申告が不要な給与所得者が行った場合、それに係る寄付金控除をワンストップで受けられる特例的な仕組みが導入されたことに伴い、その手続き関係を規定したものである。

固定資産税について

は、現行の土地の負担調整措置を平成29年度までの3年間延長するためのもので、軽自動車税については、平成27年4月1日から平成28年3月31日までに最初の新規検査を受けた一定の環境性能を有する四輪等について、その燃費性能に応じたグリーン化特例(軽課)を新設したこと。

平成27年度分以後の年度分の軽自動車税について適用することとされて

地方自治法で定めており、緊急時で議会を招集する時間がない場合等、予算や条例などを首長が議会の議決を経ずに自らの権限で決めること。

国民健康保険税率 の一部改正

主な内容

基礎課税額に係る限度額を52万円に、後期高齢者支援金課税に係る限度額を17万円に、介護納付金課税額に係る限度額を16万円に改正するものである。

さらに、5割軽減及び2割軽減の対象となる世帯の軽減判定の算定において、被保険者数に乗ずるべき金額を5割軽減は26万円に、2割軽減は47万円に改めるものである。

賛成全員・可決

都市計画税条例の 一部改正

主な内容

都市計画税の負担調整措置について、従来から固定資産税と同様の措置が講じられており、固定資産税における措置と同様に現行の土地の負担調整措置を平成29年度までの3年間延長するものである。

また、地方税法の改正により本条例において引用する地方税法の条項の追加や条項ずれに対応するために改正を行ったものである。

賛成全員・可決

町民福祉課長

課税限度額の補助の影響額は64万円である。

また、軽減世帯の影響額20世帯については71万円である。全体での影響額としては7万円である。

賛成全員・可決

介護保険条例の 一部改正

主な内容

介護保険法施行令の一部改正が公布されたことに伴い、介護保険条例の一部を改正するもので、第1号被保険者の第1段階の保険料について、平成27年度から平成29年度までの各年度において、

3万4800円を2万7432円に3048円引き下げるものである。

賛成全員・可決

質疑

今野章議員

課税限度額の引き上げにより、全体で4万円の引き上げとなるが影響額はどのくらい見込んでいるのか。

また、5割軽減で16世帯、2割軽減で4世帯であるが、軽減額はどのくらいか。

暴力団の利益となる公共施設の使用等の制限に関する条例の一部改正

主な内容

暴力団の利益となる使用等を制限する公共施設に、松島町復興まちづくり支援施設、松島町児童館及び松島町避難施設を追加するもの。

質疑

色川晴夫議員 暴力団が公共施設の使用禁止について、指定管理者にどのような通知、文章を出しているのか。

副町長 募集要項の条件ではなく、町の条例で暴力団排除をうたっている。使用者に疑問があれば、警察に照会をかける形になる。

賛成全員・可決

松島町町税条例の一部改正

主な内容

町民税・固定資産税、軽自動車税などの減免更新期限を「納期限前7日」までを「納期限」までに改正し、更新期限を延長するもの。また、たばこ税を旧3級品にかかると特別税率を段階的に廃止し、平成28年4月1日から平成31年4月1日までに、4段階で税率を引き上げるもの。

賛成全員・可決

松島町国民健康保険条例等の一部改正

主な内容

減免申請期限を現行の「納期限前7日」までを「納期限」までに改正する。また、「配当所得」を「利子所得、配当所得及び雑所得」の改正について、施行期日を「平成29年1月1日施行」から「平成28年1月1日施行」に改正するもの。

賛成全員・可決

JA仙台松島と共有 町内最大規模(収容人数320人)の 避難所完成



松島町避難施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正

主な内容

高城避難所の建設に伴い、本条例に当該施設を加えるもの。

質疑

今野章議員 補正予算で管理人賃金227万円計上されている。避難所の管理方法はどのようなのか。

副町長 去年からJAと協議しているが、JA側はオープン後の状況で判断することであり、基本的には町直営とし、職員は臨時職員を考えている。

色川晴夫議員 運営について、今後JAと協議するとの事だが、条例出す以上は、想定される質問と思うが、明確に答えてほしい。また、地域住民に対するお披露目はどうなるのか。

副町長 6月22日のオープン後の6月下旬か7月上旬に地域住民の方々、各種団体に案内する。

櫻井靖議員 利用料金はどのようなのか。

危機管理監 9時から13時は3000円、13時から17時は3000円、17時から21時いずれも3000円の料金となっている。また、各種団体や町の主催となれば減免の対象となる。

賛成全員・可決

今野章議員 災害時の避難施設運営について、職員での対応は当然であるが、長期になれば避難者で運営となるが、マニュアルはいつ出来るのか。

総務課長 今年度の避難訓練に間に合うように考えている。

指定管理者の指定

管理費は適正か

主な内容

白萩避難所の指定管理者の指定について、松島町磯崎区を指定管理者に指定するものである。

質疑

色川晴夫議員 白萩避難所の管理費をどのようにして算定したのか。



白萩避難所

副町長 町と区で協議をし、設計会社がこれからの利用を含めて試算した。

色川晴夫議員

各種団体の使用料の全額減免はこれからも維持していくのか。一部負担を考えなければ施設維持管理が難しくなるのではないかと。副町長 公共施設だから誰もが利用する場合は安く考えている。しかし立派な施設を利用するとなれば全部がただという考え方を切り替えていか

なければ町の運営ができなくなる。今すぐではないが、町民の皆様にご理解をいただき検討していきたい。

高橋幸彦議員

発電機用のガソリンを入れた携行缶をおいても構わないか。

危機管理監

消防署に確認したところ、40リットル未満であれば消防法上問題がないので18リットルであれば2缶おける。賛成全員・可決

和解及び損害賠償の額の決定

みんなで防災対策を

主な内容

和解内容及び損害賠償の額の決定について議会の議決を求める。
1、和解内容及び損害賠償額
町は、損害賠償金26万3290円を支払うものとする。
2、相手方
菅原紀久子
3、事故の概要
平成25年11月21日午後5時30分頃、松島町文化観光交流館脇の町道において、歩行中に蓋が外れている柵へ足を踏み外し、負傷したものの。

質疑

赤間幸夫議員

町は今後、このような事故が起こらないよう防止策についてどのように話し合いがなされ、扱っているのか。

建設課長

建設課として年に2回全員で道路を点



事故があった側溝（現在は改修済み）

検に行くことを決めている。また、郵便局と協定を結び、道路に穴が開いているなど危ないところを報告してもらえよう協定を結んでいる。区長会でも連絡をもらえるよう話をさせてもらっている。

赤間幸夫議員

防犯関係の団体や婦人関係の団体にも周知徹底すれば減災につながると思うので要望する。

賛成全員・可決

新しい文化の発信拠点へ

工事請負契約の締結

主な内容

東日本大震災復興交付金事業として実施する松島海岸公園避難施設工事に
関する契約及び財産の取得又は処分について議会の議決を求める。

工事内容

観瀾亭分室を曳家し、基礎及び建物の補強を行い、創建当時の建築様式を復元する。

○契約金額

9504万円

○相手方

(株)鈴木工務店

質疑

色川晴夫議員

この建物は文化財に入っているか。入ってなければこの機会に松島町の文化財にしてはどうか。

町長

現在のところ入っ

ていない。文化財とは異なるが近代遺産として関係者、知識人と打ち合わせをし、しかるべき措置をしていきたい。

色川晴夫議員

避難施設以外の使い方はどう考えているか。

副町長

1階は観光客を含めたいろいろな展示会場として、2階は地域の方々のコミュニティの場として考えている。



観瀾亭分室をコミュニティの場に!

工事請負契約の変更

主な内容

色川晴夫議員 今後、指定管理にしていけるのか。
副町長 観瀾亭を含め町で直営したい。だが、議論は必要だ。第1候補として観光協会と内々話しているが若干の認識の違いがあり、検討段階である。

賛成全員・可決

西行戻しの松公園防災器具庫等建設工事について、公園全体の防犯対策を考慮し、監視カメラ及びデジタルコーダーを設置し、施設の安全対策を図るため変更するもの。

○契約金額

変更前 5346万円

変更後

5596万4520円

○相手方

(株)鈴木工務店

質疑

櫻井靖議員

監視カメラは夜でもはつきり写るのか。また、何日くらい記録できるのか。

副町長

地域的に明るいので、夜でも撮れる。また、1週間以上記録できる管理をしていきたい。

今野章議員

カメラをつけた防犯効果を期待するのであれば点検をしなけ

ればならないと思うがどうか。

副町長

10日以内を基準に職員が点検や巡回をし、何かあれば画像を見る。

今野章議員

事件というのは何ヶ月かたって明らかになることもある。10日分のデータは保管するのか、消去するのか。

町長

異常がなければ書きをしていくように考えていたが、ある程度期限を切った形で保存を考えていきたい。

色川晴夫議員 高額で公園を整備している。担当



西行戻しの松公園

課ばかりではなく、7月以降は施設管理者が毎日通勤するわけだから、万が一何かあったら役場に届けてもらえるようごまめに見回りしてもらいたいかどうか。

産業観光課長

管理というのは大変重要だと担当課として認識している。しっかりと管理していきたい。

菅野良雄議員

交付金事業の場合、警備を警備会社に委託することはできるのか。

副町長

交付金はハード面であり、管理運営は自治体持ちとなる。パノラマハウスを指定管理にしているのその方に見てもらい、警備会社は考えていない。

赤間幸夫議員

カメラ位置はどのような根拠で設置されているのか。

副町長

専門的な画素、角度については業者に頼んだが、基本的には行政主導で3カ所となった。

賛成全員・可決

報告

繰越事業45件

内、事故繰越し14件

一般会計繰越明許費繰越計算書

主な内容

他事業との調整や関係機関との協議等により、平成26年度内完了が見込まれないことから、26事業を繰り越した。

下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書

主な内容

関係機関との調整、用地買収等について時間を要し、平成26年度内完了が見込まれないことから、4事業を繰り越した。

質疑

色川晴夫議員 平成28年3月完了見込みが26事業の内12事業がある。この事業は事故繰越の可能性もあり、工程表等に基づいた地区説明が必要ではないのか。

副町長 地区に関わる工事の説明は必要だと認識している。いつ終わるか明言できない。

一般会計事故繰越し繰越計算書

主な内容

昨年度繰り越した事業であるが、他事業との調整や関係機関との協議等により、平成26年度内完了が見込まれないことから、12事業を繰り越した。

質疑

色川晴夫議員 平成28年3月完了となっている事業で、また事故繰越しな

る可能性は絶対ないのか。

建設課長

絶対ということではないが、頑張るといふことで理解していただきたい。

副町長

事業を進めて、無理だと判断した段階で1回基金に戻し、もう1回発注することになる。

太齋雅一議員

工事発注された業者は工事が終わらない場合、工事費の支払いはどうなるのか。

副町長

出来高検査がある。そこで出来た分の100%ではないが、近い形の金額を支払うことになる。

下水道事業特別会計事故繰越し繰越計算書

主な内容

松島地区外内水対策事業で、昨年繰り越した事業であり、調査測量業務について関係機関との協議に時間を要したため繰り越した。

公共下水道施設災害復旧事業は、用地買収等に時間を要したため2事業を繰り越した。

水道事業会計繰越明許費繰越計算書

主な内容

建設改良費の二子屋浄水場実施設計業務委託について、関係機関との協議等に時間を要したため1事業を繰り越した。

人事

松島町教育委員会
教育長
……………同意



○小池 満氏 66歳
(松島町高城)

松島町固定資産評価審査委員会委員
……………同意

○大山 堯氏 80歳
(松島町磯崎)

○福田 修氏 68歳
(松島町磯崎)



松島町の面積変更

平成27年2月6日発表

(国土地理院による計測方法の変更により)

54.04km²⇒53.56km²へ

一般会計繰越明許費繰越計算書

事業名	翌年度繰越額	完了(見込)
復興支援定住促進事業	200万円	平成27年9月下旬
景観形成推進事業	100万円	平成27年6月下旬
旧高城公会堂解体改修事業	1381万円	平成27年4月完了
復興まちづくり支援施設(パノラマハウス)整備事業	9534万円	平成27年6月下旬
松島地区安全・安心なまちづくり基盤整備事業(避難場所:西行戻しの松公園)	1億6921万円	平成27年7月下旬
松島地区安全・安心なまちづくり基盤整備事業(避難場所:石田沢地区)	5億3371万円	〃
松島東浜地区避難場所整備工事	4517万円	〃
漁業集落復興効果促進事業	883万円	〃
松島地区安全・安心なまちづくり基盤整備事業(避難場所:三十刈地区)	4億3113万円	平成27年7月下旬
漁業集落防災機能強化事業(手樽地区)	2億7165万円	平成28年3月下旬
松島地区等避難施設整備事業	5億1038万円	〃
備蓄倉庫整備事業	2億2743万円	〃
高城地区津波避難施設整備事業	2億4620万円	平成27年6月下旬
耐震性貯水槽整備事業	8040万円	平成27年8月下旬
地域住民生活等緊急支援事業	6543万円	平成28年3月下旬
漁港施設機能強化事業	8256万円	〃
漁港海岸・海岸保全施設築造事業	2億3635万円	〃
磯崎漁港共同利用施設復興整備事業	1億787万円	〃
橋梁長寿命化対策事業	5861万円	〃
町道内町線・内町支線道路整備事業	880万円	〃
松島地区避難路整備事業	1億544万円	〃
高城・磯崎地区避難路整備事業	1784万円	〃
根廻磯崎線道路整備事業(根廻地区)	4853万円	平成27年12月下旬
宅地かさ上げ等事業費補助金	200万円	平成27年9月下旬
農業用施設災害復旧工事	2446万円	平成27年6月下旬
公共土木施設災害復旧事業	6億3262万円	平成28年3月下旬

下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書

白萩地内雨水路整備事業	820万円	平成27年9月下旬
松島地区外下水対策事業	2億3419万円	平成28年3月下旬
松島地区外内水対策事業	3億2799万円	〃
公共下水道施設災害復旧事業	8617万円	〃

一般会計事故繰越し繰越計算書

手樽地区復興まちづくり拠点施設整備事業	6536万円	平成27年7月下旬
松島地区復興まちづくり拠点施設整備事業	477万円	平成28年3月下旬
松島地区安全・安心なまちづくり基盤整備事業	3888万円	平成27年8月下旬
漁業集落防災機能強化事業	5833万円	平成28年3月下旬
松島地区安全・安心なまちづくり基盤整備事業(避難場所:三十刈地区)	217万円	平成27年6月下旬
漁港海岸・海岸保全施設築造事業	2605万円	平成27年7月下旬
町道手樽・富山駅線道路整備事業	7306万円	平成28年3月下旬
町道高城・松島線外3路線道路整備事業	9733万円	〃
町道上竹谷・高城線外11路線道路整備事業	9957万円	〃
根廻磯崎線道路整備事業(磯崎地区)	8321万円	〃
災害公営住宅整備事業(磯崎地区)	1億94万円	平成27年6月下旬
公共土木施設災害復旧事業	1億4252万円	平成28年3月下旬

下水道事業特別会計事故繰越し繰越計算書

松島地区外内水対策事業	217万円	平成27年9月下旬
公共下水道施設災害復旧事業	6億32万円	平成28年3月下旬

水道事業会計繰越明許費繰越計算書

二子屋浄水場実施設計業務委託	4507万円	平成27年9月下旬
----------------	--------	-----------

全員協議会

平成28年度以降の復興事業にかかる

町負担額 49,972千円

全員協議会

① 根廻磯崎線道路整備事業（根廻地区） [社会資本整備総合交付金]

■負担額見込み（3ヶ年：28年度～30年度） **33,561千円**



28年度以降の事業費	1,678,043千円
国費（60%）	1,006,825千円
町負担（40%）	671,218千円
（町負担のうち震災特交：95%）	637,657千円
（うち実費町費：2.0%）	33,561千円

②（仮称）農村地域復興再生基盤総合整備事業（手樽地区）

■負担額見込み（5ヶ年：28年度～32年度） **15,750千円**



28年度以降の事業費	1,500,000千円
国費（50%）	750,000千円
県費（29%）	435,000千円
町負担（21%）	315,000千円
（町負担のうち震災特交：95%）	299,250千円
（うち実質町費：1.1%）	15,750千円

③ 下水道施設移設事業（松島地区：国道45号拡幅計画に伴う下水道管渠等の移設） [東日本大震災復興交付金]

■負担額見込み（1ヶ年：28年度） **661千円**



28年度以降の事業費	66,028千円
国費（80%）	52,822千円
町負担（20%）	13,206千円
（町負担のうち震災特交：95%）	12,545千円
（うち実質町費：1.0%）	661千円

平成27年 第2回松島町議会定例会 議案採決結果

全：賛成全員（可決・採択） 多：賛成多数（可決・採択） 否：賛成少数（否決・不採択）

○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席

※櫻井公一議員は議長のため採決に加わりません

賛否の公表

議案番号	議案名	議決月日	採決結果	澁谷秀夫	赤間幸夫	櫻井靖	片山正弘	後藤良郎	小幡公雄	高橋幸彦	今野章	太齋雅一	色川晴夫	菅野良雄	高橋利典	阿部幸夫	櫻井公一	賛成	反対
陳情第1号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情について	6月12日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	13	0
議案第53号	松島町町税条例等の一部改正	6月12日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	13	0
議案第54号	松島町都市計画税条例の一部改正	6月12日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	13	0
議案第55号	松島町国民健康保険税条例の一部改正	6月12日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	13	0
議案第56号	松島町介護保険条例の一部改正	6月12日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	13	0
議案第57号	暴力団の利益となる公共施設の使用等の制限に関する条例の一部改正について	6月15日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	13	0
議案第58号	松島町町税条例の一部改正について	6月15日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	13	0
議案第59号	松島町国民健康保険税条例等の一部改正について	6月15日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	13	0
議案第60号	松島町避難施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正について	6月15日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	13	0
議案第61号	指定管理者の指定について（白萩避難所）	6月15日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	13	0
議案第62号	和解及び損害賠償の額の決定について	6月15日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	13	0
議案第63号	工事請負契約の締結について（松島海岸公園避難施設整備工事）	6月15日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	13	0
議案第64号	工事請負契約の変更について（西行戻しの松公園防災器具庫等建設工事）	6月15日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	13	0
議案第65号	平成27年度松島町一般会計補正予算（第2号）	6月15日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	13	0
議案第66号	平成27年度松島町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	6月15日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	13	0
議案第67号	平成27年度松島町介護保険特別会計補正予算（第1号）	6月15日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	13	0
議案第68号	平成27年度水道事業会計補正予算（第1号）	6月15日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	13	0
議案第69号	松島町教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	6月12日	同意 (投票)														-	13	0
議案第70号	松島町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	6月12日	同意 (投票)														-	13	0
議案第71号	松島町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	6月12日	同意 (投票)														-	13	0
議員提案第2号	ウイルス性肝炎患者に対する支援の拡充を求める意見書について	6月16日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	13	0
議員提案第3号	人種差別を扇動するヘイトスピーチに対する法整備を求める意見書について	6月16日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	13	0

委員長 澁谷 秀夫

議会における一般質問 及び総括質疑の充実に 向けて

一般質問の際、パネル等資料の持ち込みはできないかなど、細部にわたって各議員より活発な議論が展開された。

◇一般質問では

- 一、一般質問に対する議事日程は、議案審議終了後とする。
- 二、一般質問は、通告制とする。
- 三、一括方式・一問一答方式のいずれかを選択する。
- 四、一般質問の制限時間は答弁も含め90分間以内とする。
- 五、質問で必要とされる説明資料の持ちこみは、事前に議長の許可を仰いでからとする。

◇総括質疑では

- 総括質疑は基本的に次の要領で行うこととした。
- 一、総括質疑は、予算審議及び決算認定の一部を解するものである。
 - 二、総括質疑は通告制をとらない。
 - 三、総括質疑は一問一答式で行う。
 - 四、総括質疑には、制限時間を設けない。
 - 五、ただし、質疑の回数及び発言時間については、議長が認めるときには、あらかじめ制限することが出来るものとする。

シリーズ 第5弾

特別委員会 活動記録

委員長 阿部 幸夫

◆平成27年4月23日(木)開催。「女川原子力発電所の再稼働について」の協議を行った。

◇主な意見

- 一、将来に向かって原子力発電をなくして、社会が成り立っていくのか心配である。
- 二、経済効率に基づいて原発の再稼働をするのではなく、人間が生きていく中で、命の安全を守る必要があると考えるべきである。
- 三、自然エネルギーだけに頼っていいものか。太陽光発電は夜に発電しない。また、化学燃料等を使った発電は、CO2排出の問題による地球温暖化など、原子力・自然エネルギーどちらにも問題がある。
- 四、ソーラーなど自然電力利用によって、電気料金に跳ね返ってきている。それが一般国民の電気料金の値上げに

◇共通意見

- 一、原子力発電の安全協定30km圏内まではあるが、風向き等によって大きく変化する。
- 二、原子力発電所から発生する核処理30km圏内から漏れた市町村対応など解決しなければならぬ諸問題が山積みしている。

◇今後の進め方

女川原発再稼働については、大変難しい問題である。今後の委員会活動の中で、講師の先生から意見を聞くなどして議論を深めていくことで一致した。

◇要望書提出

4月22日、宮城県議会・宮城県市議会議長会・宮城県町村議会議長会の三会合同で、復興庁・国土交通省・内閣官房長官など多数の方々に対し、「東日本大震災の集中復興期間の延長と特例的な財政支援の継続について」の要望活動を行った。

議員
提案

意見書2件提出

ウイルス性肝疾患の患者を守れ！

我が国にはB型・C型肝炎の感染者及び患者が合計で350万人以上いると推定されており、その多くは集団予防接種における注射器の使い回しや輸血、血液製剤の投与等の医療行為による感染が原因とされる。こうしたウイルス性肝疾患の患者に対する支援の拡充を求める意見書

《要旨》

平成22年1月に感染被害の拡大を招いた国の責任と肝炎患者を救済する責務を明記した肝炎対策基本法が施行され、肝炎対策に係る諸施策が実施されている。

その中の一つである肝炎治療特別促進事業は、助成対象が、B型・C型肝炎ウイルスの根治を目的とした治療等に限定されているため、対象から外れている患者は相当数に上る。特に肝硬変・肝がん患者は高額な医療費を負担せざるを得ず、生活に困難を来している実情もある。

また、現在は肝疾患も身体障害者福祉法の認定の対象となっているが医学上の認定基準が厳しく、肝炎患者に対する生活支援の実効性を発揮していないと指摘されている。

ウイルス性肝疾患の患者の実情を踏まえ、左記の措置が迅速に講じられるよう国等に強く要望する。

- 1 ウイルス性肝炎が原因である肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設すること
- 2 身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳について、患者の実態に応じた認定制度とすること

提出先 衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

財務大臣

厚生労働大臣

意見要望

人種差別を扇動させるな！

近年、主に在日韓国・朝鮮人を標的とした差別と憎悪をあおるヘイトスピーチデモが全国各地で行なわれており、大きな社会問題となっている。

そこで、人種差別を扇動するヘイトスピーチに対する法整備を講じるよう国等に求める意見書

《要旨》

2014年7月、国連自由権規約委員会は、日本政府に対し、人種や国籍差別を助長する街宣活動のヘイトスピーチ問題に毅然と対処し、法律で規制するよう勧告した。

また、最高裁判所は12月、京都朝鮮学校周辺における街宣活動に対して人種差別撤廃条約で禁止した人種差別に当たるとして賠償命令を下した。

人種差別や民族差別的行動の放置は、国際社会における我が国への尊敬と信頼を失墜させるものとなる。

よって、国は人種差別を扇動するヘイトスピーチに対する法整備を速やかに講じるよう要望する。

提出先 衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

法務大臣



平成26年度 政務活動費収支報告

一人あたり月額7,000円 余剰金は町に返還します。

会派(議員)名	代表者名	所属議員名	交付額	支出	残額(返還額)
新生クラブ	高橋幸彦	高橋幸彦 澁谷秀夫 赤間幸夫 菅野良雄 阿部幸夫	420,000円	263,971円	156,029円
			4月～3月 7,000円×12ヶ月×5名	研修費 189,409円 資料購入費 74,562円	
			○研修先:市町村職員中央研修所 ○調査内容:市町村議会議員特別セミナー		
日本共産党	今野章	今野章	84,000円	37,587円	46,413円
			4月～3月 7,000円×12ヶ月×1名	資料購入費 29,520円 事務費 8,067円	
公明党	後藤良郎	後藤良郎	84,000円	45,497円	38,503円
			4月～3月 7,000円×12ヶ月×1名	研修費 38,337円 資料購入費 3,024円 事務費 4,136円	
			○研修先:市町村職員中央研修所 ○調査内容:市町村議会議員特別セミナー		
町民クラブ	太齋雅一	太齋雅一 色川晴夫	168,000円	18,000円	150,000円
			4月～3月 7,000円×12ヶ月×2名	資料購入費 18,000円	
政務活動費(会派分)小計			756,000円	支出額 365,055円 交付額相当分 365,055円	390,945円
櫻井靖			84,000円	114,030円	△ 30,030円 (返還金0円)
			4月～3月 7,000円×12ヶ月×1名	研修費 114,030円	
			①○研修先:市町村職員中央研修所 ○調査内容:市町村議会議員特別セミナー ②○研修先:日本青年館ホテル ○調査内容:清溪セミナー 「住民主体の地方自治を進める議会・議員セミナー」		
片山正弘			84,000円	84,980円	△ 980円 (返還金0円)
			4月～3月 7,000円×12ヶ月×1名	研修費 75,980円 資料購入費 9,000円	
			○研修先:日本青年館ホテル ○調査内容:清溪セミナー 「住民主体の地方自治を進める議会・議員セミナー」		
小幡公雄			84,000円	9,000円	75,000円
			4月～3月 7,000円×12ヶ月×1名	資料購入費 9,000円	
高橋利典			84,000円	85,160円	△ 1,160円 (返還金0円)
			4月～3月 7,000円×12ヶ月×1名	研修費 76,160円 資料購入費 9,000円	
			○研修先:日本青年館ホテル ○調査内容:清溪セミナー 「住民主体の地方自治を進める議会・議員セミナー」		
政務活動費(議員分)小計			336,000円	支出額 293,170円 交付額相当分 261,000円	75,000円
合計			1,092,000円	支出額 658,225円 交付額相当分 626,055円	465,945円

※『櫻井靖』議員・『片山正弘』議員・『高橋利典』議員の残額(返還額)については、交付額よりも支出額が多いため交付額により算出

町政Q&A

一般質問

ここが聞きたい!

しっかり
答えてネ!

赤間 幸夫 議員 (15ページ)

櫻井 靖 議員 (16ページ)

今野 章 議員 (17ページ)

小幡 公雄 議員 (18ページ)

後藤 良郎 議員 (19ページ)

5人の議員が9件について質問

一般質問

問 今後の町政運営と政治姿勢について

答 「町民・町」のために頑張っていくぞというふうな気持ち



あか ま ゆき お 赤間 幸夫 議員

問 この1期4年間の町政運営に対する自からの評価は。

町長 何よりも、震災被害対応、そして被災者対応に、一年半ぐらいは頑張ってきた。

震災を除いては、各地区の要望を道路や街灯(防犯灯)等の整備を中心に、極力、100%に近付けられるよう頑張ってきた。今一番頭の中にあるのは、児童館などの教育施設や子育て施設の整備に力を入れた取組みが成果となっており、及第点はいただけるのでは。

問 町政運営にあたって、町長自らが持たなければならぬと考える政治姿勢は。

町長 行政のトップとしていかにあるべきかという話は、なかなか難しいが、継続するまち、なくなってしまうのではなくて、やはり人口が少なければ少ないなりに、そして少子高齢化であれば、ある程度その条件の中で松島が日本の町として、これから先も存続していくような、そういったまちづくりをしていく。

問 町長として、やり遂げたい行政施策は。

町長 震災復興も含んで今後の新しいまちづくり、少子高齢化に対応した新しい継続するまちづくりはぜひとも必要なこと、単なるインフラ整備だけでなく、例えば、放射光施設の誘致に、結果を出していきたい。そのインフラを生かした活発な産業活動、農業とか商工業、水産業になるが、人の動きが盛り上がってくるようなやり方については、今後の課題であり、今後必要なことと考えている。

問 今、胸中を去来するものと新たな決意の程をお聞かせ下さい。

町長 体調を気にすることなく、町民のため、町のために頑張っていくぞというふうな気持ちである。どういう方向に頑張っていくかは、これまで述べてきた答弁で、ご勘弁いただきたい。

問 オープンスペースの設置を

答 JAの上部を自由に使い、お茶の飲めるスペースに



櫻井 靖 議員

一般質問

問 会議室や音楽室といった目的が設定されている部屋ではなく、出入りが自由で、小規模なサークルの作業やちょっとした打ち合わせ、おしゃべりや飲食が出来るスペースは出来ないか。男性の退職された方の居場所、仲間作りの場所を設置できないか。

副町長 気軽に立ち寄れる施設というのは必要だ。今度オープンするJAの上部のスペース(高城避難所)の一部がどうかと思っている。JAの上部をどう活用するか話し合ってきた。職員がずっといることは出来ないが、お茶とかポットを置いて、堅苦しくなく、オープンに保健師さんや栄養士さんがたまに来て相



高城避難所 (JA 新店舗上部)

談できる場というのも含めて考えていきたい。他の避難所等についてもフル稼働していかないところは考えていきたい。確かに男性が外になか

なか出て来ないというのは感じている。居場所は家庭の中が一番と考えるが、プラスアルファの補完的なもので考えていきたい。

問 自転車に安全に楽しく乗るために

答 自転車もスピードをつければ相当危ない道具になると思っている

問 改正道路交通法が施行された。自転車通学をしている子供たちに対して、学校は乗り方講習、自転車の整備不良点検をしているのか。

問 松島は自転車が行きにくい道路が多いように感じている。自転車が安全に走れる道路づくりをどう考えているか伺いたい。

教育課長 自転車の交通安全について張り紙を掲示したり、注意事項を保護者宛にプリントで配布している。今後も交通安全の啓蒙・教育に努めていく。

町長 理想的には自転車専用の走行レーンを確認していきたいが、道幅の問題があり、なかなか難しい。今後の検討課題として考えていく。

今回、松島海岸から松島駅までの部分で歩道を整備している。その部分については自転車でも安全走行できるように地域と協議していく。

問 私が交通指導隊員として街頭指導しているとき、無灯火で帰宅する子供たちがいて注意するが、学校としても安全に帰宅しているかチェックすべきではないのか。

教育課長 ご報告を真摯に受けとめ指導していく。



あきらの 今野 議員

一般質問

問 ごみ焼却炉改修はごみ減量を見据えて

答 問題提起し、内部議論を深める

問 宮城東部衛生のごみ焼却炉・埋立て処分場は今後10年程度の寿命。延命を考えているが、地球環境への負荷低減へ、ゴミを燃やし続けるのではなく、減量を進めるべきである。この間の減量の取組とその総括を伺う。

町長 ごみ減量化に継続的に取組んだが、大きく減っている状況にはない。

問 ごみ処理計画では、一人当たり排出量930グラムが目標だが達成していない。「燃やさない。埋めない」を理念に、生ごみ等の減量へ分別方法、リサイクル方法を考えることが重要ではないか。

町長 ごみ問題は人間社会の大きな課題であり、事務組合の副管理者として今のお話を問題提起し、内部議論を深めた。



家庭ごみの収集

問 家庭ごみと共に事業系ごみの減量も重要であり、役場自体がその実践を示し啓蒙すべきでは。

町長 ごみの分別、リサイクルについて認識を改め、二つ二つ進めたい。

問 最終処分場建設反対に連帯を

答 福島も踏まえやむを得ない

問 指定廃棄物の最終処分場建設地3ヶ所は地滑り地帯であり、事故が発生すれば本町の水源が汚染される。振り出しに戻すべきと思うが、3候補地に決まった経緯は。

町長 国から放射性廃棄物は各県で処分の方針が出され、知事が各首長を招集。国の選定候補地から最終的に3つに絞った。押しつけではなく、合理的の根拠に基づくものである。

問 県の受入れに仕方ないという認識で、原因者責任も明確にせず進んでいることが問題では。

町長 東京電力の原発も考えられるが、福島県民の立場も踏まえ、やむを得ないとの結論に達した。

問 5月29日のフォーラムで環境省の委嘱委員から「県の計画は考え直したほうがいい」という声が出た。首長会議も議論を戻すべきではないか。

町長 処分場を決めるのは国であり、知事の放射性廃棄物の処分法の取組みについては理解できる。

問 空き家の実態と対策は

答 ここ30年以内に有効な手だてを見つける



お ばた きみ お 小 幡 公 雄 議員

一般質問

問 空き家問題がクローズアップされているが、本町における実態は把握されているか。

町長 この自治体でも決定打的なところは考えていないという印象である。国の制度、税制、法律なども絡むので、そういったところと町政をとりながら、ここ30年以内ぐらいで有効な手だてを見つけるべきと考えている。

企画調整課長 本町の空き家軒数は、昨年に12月末まで行政委員へのヒアリングや職員の調査の結果、少なくとも128軒が報告されている。宮城県の空き家率が9・4%に対し、3・2

%と低い。対策については、この2月に町内や周辺市町の不動産業者に対し、空き家情報の提供を文書で呼びかけ、町のホームページ

ジ上の「空き家バンク」で順次内容を更新している。さらに、「広報まつしま」3月号で町民にも情報提供をお願いしている。



回りが心配する空き家

問 町営住宅の現況は

答 耐用年数のすぎたところは払い下げや一部用途変更も

問 生活保護世帯が125世帯と聞く。住生活環境は保持されているか。町営住宅への入居希望者の推移と、耐用年数から見て現況はどう評価しているか。

建設課長 町営住宅入居は、空き家が出た場合に抽選会を実施することになっている。震災後は2回。

平成24年9月、高城の1号棟で5世帯、25年7月、高城3号棟の1室の抽選会では、12世帯の申し込みがあり、うち生活保護世帯は1世帯である。住まいの環境は、現状

どおりとしており、最低基準は保たれている。

問 耐用年数を過ぎた町営住宅は今後どうするのか。

副町長 平成25年に管理の現況調査をしている。幡谷、上初原、愛宕といった木造のところは、払い下げや愛宕などは用途変更にするとか考えていく。

建設課長 上初原住宅など木造住宅の耐用年数を過ぎたところは、いずれ取り壊すと考えている。



後藤 良郎 議員

一般質問

問 特殊詐欺について

答 啓発も含め対策を進めていく

問 ここ3年間の宮城県や塩竈警察署管内または松島町内の被害状況はどうなっているか。

産業観光課長 県の被害件数は24年から26年の3年間の合計で、件数が432件、被害額が10億4742万円である。塩竈警察署管内は、24件、5838万円。町内では、3件、1550万円である。

問 町民に対する被害防止の対策はどのようにしているのか。

副町長 老人クラブの会合に弁護士及び関係機関の方が来て講演を行っている。

問 各家庭の固定電話の受話器に目立つように、例えば「ちょっと待った」などと書いた、ポツブアップステッカーを貼ることで、考え直すきっかけづくりになる取り組みを行っているかどうか。

副町長 啓発も含めて、前向きに進めていきたい。



詐欺を未然に防ぐために

問 小・中学校入学支援事業について

答 運動着の無料支給を来年度予算の中で検討したい。

問 平成27年度、本町の小・中学校の新入学者数はどうなっているか。

町長 一小が53名、二小が30名、五小が13名。小・中学校全体で96名。中学校は92名。小・中学校合わせて188名である。

教育課長 今年度の児童生徒の合計で、約265万円である。

問 保護者の経済的負担を軽減するためにも、少子化対策の一環として、小・中学校の新入生に運動着を無料で支給する「小・中学校入学支援事業」を実施すべきと考えられているかどうか。

副町長 来年度予算の中で優先的に検討したい。

問 未来を担う子ども達がいきいきと健やかに成長し、保護者の皆さまが安心と喜びを感じながら、子育てできる環境づくりは大変重要である。小・中学校の新入生における運動着の費用はどれ位か。

一部事務組合議会報告

宮城東部衛生処理組合議会

塩釜地区消防事務組合議会

平成27年3月27日（金）、第1回定例会が開催された。
提出議案は、

- ① 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ② 平成26年度 宮城東部衛生処理組合会計補正予算について
- ③ 平成27年度 宮城東部衛生処理組合会計予算について

ごみ処理費負担金は、組合構成市町が均等割15%、人口割35%、実績割50%の割合で負担をしており、投資的経費の負担は人口割で、27年度の松島町の負担割合は11・2171%となっている。また、資源物売り払入金控除は実績割であり、27年度の松島町の負担割合は13・9355%となっている。
以上、提案された議案は、全て原案どおり可決された。

組合議会議員

片山正弘議員
今野章議員

平成27年度 東部衛生処理組合会計予算

【歳入】			
款／予算額	本年度	前年度	比較
分担金・負担金	862,541	824,799	37,742
使用料・手数料	505	505	0
財産収入	12,140	11,529	611
繰入金	62,581	110,700	-48,119
繰越金	1	1	0
諸収入	232	466	-234
歳入合計	938,000	948,000	-10,000

【歳出】			
款／予算額	本年度	前年度	比較
議会費	2,412	2,412	0
総務費	61,668	57,296	4,372
衛生費	729,348	744,383	-15,035
災害復旧費	1	1	0
公債費	139,430	139,429	1
予備費	5,141	4,479	662
歳出合計	938,000	948,000	-10,000

平成27年3月30日（月）、第1回定例会が、開催された。
〔行政報告〕

平成26年、1年間の火災発生件数は、41件で前年比18件の減少。

この内、松島町分は8件の発生、前年比同件であった。

緊急出動件数は、8498件で前年比4・2%の342件増であった。

この内、松島町分は956件対前年比59件、6・6%の増。

平成26年4月から本年2月末日までの要介護認定審査判定状況は、269回の審査会の開催、7787件の審査判定が行われた。

一方、同期間における障害支援区分審査判定状況は、前年比41・3%増の212件となった。

続いて、し尿及び浄化汚泥の搬入総量は、9805・23トンで436・45トンの減少となる。

塩竈斎場の利用実績は2002件と前年比9・0%増の1666件の増加。

二市三町区域内利用が109件増の1579件、区域外で57件増の423件となった。

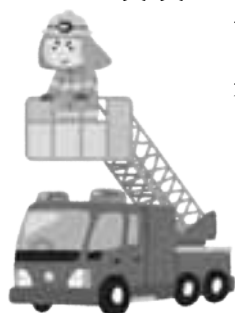
提出議案1号（6号）については、討論がなく賛成全員で可決された。
監査委員の選任についても賛成全員で同意。

〔新斎場建設の進捗状況〕

報告内容は、現況測量と住民代表者懇談会についてであり、斎場建設候補地に対する測量を5月11日から29日までの間で行う予定であること、地元の見意を集約する場として住民代表者懇談会を設置したとする2点の内容でした。

組合議会議員

高橋利典議員
赤間幸夫議員





議員との懇談会

4月15日 / 文化観光交流館

私たちの活動を 知って欲しい

助け合いの活動は、謝礼やお返しを考え気が重くならぬように有償で行っています。決められた金額を払うことで気兼ねなく援助を依頼することができます。

ただし、援助を受けた人も援助をしたい人も医療生協の組合員になる必要があります。

こんな活動ができます。

- 家事援助、洗濯、掃除、買い物
- 草取り、庭掃除、花の水やり
- お話し相手、見守り
- 外出、通院の付き添い、JTB出し
- 子育て

誰が利用できるの？

議会 暮らしの助け合いの会のお話を聞いて、良い活動をされていると思っ
ています。訪問を利用されている方は、介護保険の認定を受けている方ですか。

助け合いの会 介護保険が認定されているか、さ

れていないかはあまり気にしていません。少々つらくてもご飯の用意ができれば介護保険は認定されません。そういう方にも手伝いをします。

依頼者からは感謝の言葉

議会 利用者は、どれ位ですか。

助け合いの会

ボランティア26人ほどで、20人の要望依頼に対応している。息子の出張中の見守り時に具合が悪くなった依頼者を診療所へ連絡し、受診させ、元気を取り戻してもらったなど、有難うの言葉を常にもらっている。

やがて我が身

助け合いの会

この活動も年数がたち、ボランティアの年齢も重なっています。若いボランティアの参加促進に協力していただきたいと思います。

町民バスは利用していい

助け合いの会 午後のバスが三十列の停留所で降

ろされて、松島海岸駅まで歩かなければなりません。なんとか海岸駅まで乗り入れてもらえないでしょうか。時刻表を検討してもらいたいです。

議会

町民バスのスタート時点でタクシー会社との協定があるためそのようになっています。議会ではデマンド交通システムなどを提案している議員もいます。

生活を守る移動販売

助け合いの会 現在は車を運転できるので良いが、高齢で車を運転できなくなると買い物するにも大変です。トラックで訪問販売してくれる方が頼りにならないを得ません。

議会

物事を進めるには役場としては財政の裏付けがないとできないため、議会とすれば議員各位が機会を捉えて提言を参考にしていきます。

不便なところに住んでいる人たちの生活を守る上でも町として訪問販売をしている人にガソリン代など助成を考えてあげられないでしょうか。

命とくらしを守る 私たちのボランティア活動!



- 松島町議会第2常任委員会 後藤良郎委員長以下6名と桜井公一議長出席。
- 青木幹子会長をはじめ7名のみなさん



佐々木 崇さん
(桜渡戸)

townspeople

日本一きれいな町へ

平安時代から松島の美しさは知られていたが、

松島の宮島、厳島、京都の天橋立、宮城の松島とともに日本三景に選ばれたのが江戸時代初期といわれている。又これらの景勝地は歴史の動きのなかで有力な社寺地に選ばれ、松島には、五大堂「重要文化財」、瑞巖寺「国宝」が有り、今日まで数多くの方が松島に來られています。

毎年7月21日は日本三景の日です。松島でも様々な行事が有ります。このような素晴らしい所に住みながら、考えさせられてしまう事が有ります。海岸通りの散歩コー

スや道路の脇に草が目立つので美しい松島を見せたい。

私が住んでいるのは桜渡戸で山の方です。私の家の前にも散歩コースが有りますが、皆が楽しく散歩できるように草刈りをいつもしております。最近特に雑草だらけの土地が目立って来ております。きれいな町づくりを真剣に考えて頂きたい。それぞれの地区に3人ぐらいプロフェッショナルの草刈を中心とした担当者を設置して頂きたい。予算もしっかりつけて頂きたい。日本一きれいな町づくりを考えて頂きたい。

次回9月の定例会は

9月下旬

開催予定です。
ぜひ、傍聴に
おいで下さい。



表紙を飾られた皆さんからの メッセージ

松島町交通指導員

隊長 池田 成美

この度は、議会だよりを通じて広く町民の方々に隊員の募集を呼びかける機会をいただきありがとうございます。

私たちは、松島町交通指導員として、毎月5と0の付く日の朝やイベントの時など交通安全の街頭指導をしております。

現在、交通安全指導員は、10名と大幅に定員を下回っております。交通安全に関心のある方、私たちと共に制服を着て、街頭指導をしてみませんか。

ご興味があれば松島町役場までお問い合わせください。

表紙モデル団体 募集中

松島町議会では、議会広報の表紙を飾ってもらえる各種団体を募集しています。議会広報で自分たちの団体をアピール！議会広報委員が直接写真を撮りに伺います。会員募集や各団体の活動PRなどにご活用下さい。

●お問合せ 松島町議会事務局 TEL.022-354-5712



議会からの お願い

議会だよりにのせる写真撮影のために、議員が出席します。腕章をつけて行きますので、よろしくご協力をお願いいたします。



編集後記

この6月、公選法改正により「18歳で選挙権」が認められた。思い起こせば、我ら団塊世代が高校時に学生運動が勃発したが、まもなく高校生の政治活動は禁止された。あれから50年、私の頭に「公僕」の2文字が浮かぶ。公務員は常に全体の奉仕者であることが求められる。主権在民を表す言葉である。しかし「公僕」が置き去りの感がある昨今の世相である。広報のあり方を考える時、「読者はどう見る」を課題としてきた。

表現方法に違いがあっても「公僕」であることを念頭に紙面づくりを心がけている。議会における発言者名を明記するようにはしたが、責任ある政事が行われれば幸甚である。課題は多いが、各委員の真剣な取り組みの中で編集されていくことをお伝えしておきます。

(小幡公雄)

- 議会広報発行対策特別委員会
- 委員長 小幡 公雄
 - 副委員長 櫻井 靖
 - 委員 赤間 幸夫
 - 色川 晴夫
 - 高橋 利典
 - 阿部 幸夫



この広報紙は環境に優しい大豆油インキで印刷しています